



平成26年(2014年)

1/1

第1333号

市報

こだいら



ぶるべー



携帯電話用



スマートフォン用



第39回障がい者作品展
あすなろの家 出品作

発行:小平市 編集:企画政策部秘書広報課 〒187-8701 小平市小川町二丁目1333番地 ☎042(341)1211(代表)

◇小平市ホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp> ◇電子メール info@city.kodaira.lg.jp ◇小平市携帯電話用ホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp/m>

迎春

今年も

明るく、元気に



健康課主催のかむかむ教室に
参加した皆さん

新年明けましておめでとうございます。
皆様には、日頃から小平市議会に対して温かいご支援とご協力を賜り、市議会を代表して厚くお礼申し上げます。

昨年、日本の代名詞的存在である富士山が世界遺産に登録され、また、2020年のオリンピックの開催地が東京に決まるなど、日本の魅力が世界に発信された年であったかと思えます。



小平市議会議長
浅倉 成樹

そうした明るい話題の一方で、東日本大震災が残した深い傷はいまだに癒えることなく、さらに、大雨や竜巻などにより、全国各地で大きな被害が発生するなど、災害に対する備えを忘

れたらならないことを、改めて心に刻んだ年でもありました。

小平市におきましては、小平市地域防災計画の見直しが行われ、より安心して暮らせるまちづくりに向けての計画が新たに策定されました。

年頭に当たって



新年明けましておめでとうございます。
今年も皆様にとりましてよい年でありますように、ご祈念申し上げます。
昨年はスポーツ祭東京2013が開催され、小平市でも成年女子バレーボール競技が行われました。加えて2020年のオリンピック開催地が東京に決まり、明るい話題が提供されました。関係各位のご努力のたまものですが、一方で先の見えない日本に天が与えたチャンスのようにも思います。東京オリンピックをただのイベントで終わらせないよう、日本の新しい道標にしなければなりません。

さて、小平市において私の考えるキーワードは「あぐりを進めて参ります。言うは易く行うは難し。多様な意見を取りまとめるには、苦勞が伴います。役所に頼んだ方が楽ですが、それでは地域の絆は築けませんし、達成感もありません。自治とは与えられるもの



小平市長
小林 正則

ではなく、培い築くものと考えます。またハード面では、人口減少・高齢社会を見据えたグランドデザイン(将来構想)づくりがあります。地域での活動を前提にしたインフラ整備と駅周辺や歩道を含めた道路整備、高齢者の移動手段の確保や都市計画公園を含めた公的な緑地確保、インフラや行政サービスの平準化に伴う広域連携の推進などです。

暮らしがよくなるように、皆様と協力しながら、まちづくりにまい進したいと思っております。今年も前へ前へと頑張りますので、ご指導の程よろしくお願いたします。新年のごあいさつとさせていただきます。